

## エコ桜が丘講演会

### 演題 『奪われた平和な村の暮らし』

～ 東電原発事故による汚染の実態～

日本大学生物資源科学部非常勤講師

**小澤 祥司氏**

(エコ桜が丘顧問)



( 建屋が破壊され、無残な姿をさらす福島第一原発 )



#### プロフィール

掛川市出身

日本大学生物資源科学部非常勤講師

主著 『自然エネルギーがわが家にやってくる』

『コミュニティエネルギーの時代へ』

『エネルギーと環境問題』

サンゴ礁保全ボランティア活動

境教専門は環育・再生可能エネルギー普及

東日本大震災飯館村周辺放射能汚染調査員

福島県飯館村は福島第一原発から北西40kmに位置します。この村は合併を選ばず、自立自給で持続可能な村づくりをめざしてきました。阿武隈山地の北部にあるこの平和で美しい村が、突然降ってきた放射能により汚染され、その営みを奪われようとしています。原発の汚染により地域社会が崩壊する――

チェルノブイリで25年前に起こったことが今日本で進行しています。しかし、原発事故の恐ろしさ、理不尽さはけっして飯館村の村民だけに留まるものではありません。これからも原発がある地域ならどこでも起きうることです。

飯館村周辺の放射能汚染調査をされてきた小澤氏に、放射能脳汚染の実態や放射線の健康への影響、今一番知りたい情報をわかりやすくお話ししていただきます。

**とき** 4月29日(祝日)

13:30～15:00

**ところ** 桜木ホール (旧桜木幼稚園、JA桜木支所北)

**主催/ NPO 法人エコロジーアクション桜が丘の会**

(お問い合わせ先 23-4439 岩瀬 亮子)